

事業目的・背景・課題

資料7

- 宿泊業ではインバウンドをはじめとする観光需要の急速な回復に伴い人手不足が顕著となっている。今後更なる増加が見込まれる観光需要を着実に取り込み、地方への旅行者数・旅行消費額等の増加といったインバウンドによる経済効果を最大限にするためにも、受け皿となる宿泊業の人手不足の解消が急務。
- 人手不足の解消に向け、外国人材の活用や経営の高度化等の人手不足対策を実施。

事業内容

- ①外国人材の確保
特定技能試験の受験者を増やすためのジョブフェア等のPR活動、試験合格者の雇用のためのマッチングイベントの実施、観光地における外国語対応人材の確保等
- ②経営の高度化
「観光人材育成ガイドライン」に準拠した教育プログラムの充実等、経営の高度化を促進
- ③地域内における事業者間連携を通じた人的資本の最適配置
地域内における事業者間連携を通じて、観光地・観光産業の人材の有効活用や省人化を図る取組を促進

事業スキーム

- ・事業形態：直轄事業
- ・請負先：民間事業者
- ・事業期間：①令和元年度～ ②令和5年度～ ③令和6年度～

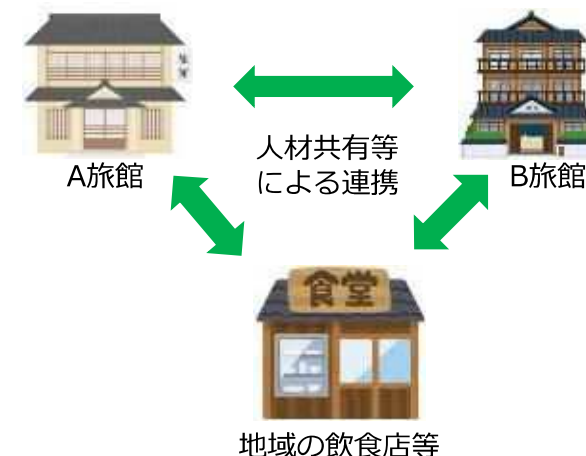
事業イメージ

○外国人材の確保



特定技能外国人材
(宿泊業)

○人的資本の最適配置



宿泊業就職相談会の開催（人材不足対策）

【令和6年10月16日開催】

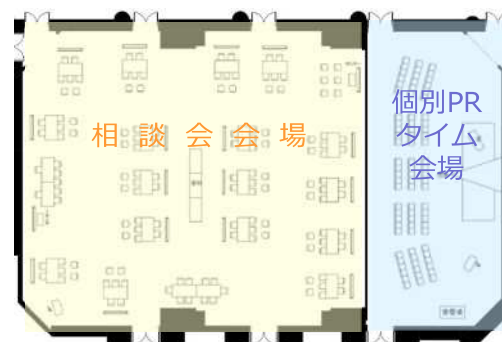


中部運輸局

インバウンドが好調に増加している一方で、宿泊を支える宿泊業界の人手不足が顕著となっており、インバウンドによる経済効果を最大限にするためにも、宿泊業の人手不足の解消が急務。中部運輸局では、日本ホテル協会中部支部及び日本旅館協会中部支部連合会と連携し、観光に関する学科のある専門学校生・大学生を対象とした宿泊業就職相談会を開催。

■開催概要

日時： 令和6年10月16日（水）13:00～17:00
 場所： ANAクラウンプラザホテル グランコート名古屋
 参加宿泊施設： 17企業（22ホテル）＋1団体
 参加学生数： 155名（専門学校 148名、大学 7名）
 うち、外国人留学生78名



○参加学生の主な声

- ・とても良い機会であった
- ・たくさんの宿泊施設と話げできたことがよかった
- ・宿泊施設が地域に密着していることがわかった
- ・今後の就職活動に非常に参考になった
- ・就職したいホテルが見つかった 等



○出展した宿泊施設の主な声

- ・非常に良い機会をつくってもらった
- ・目的が特化しているため濃い話が学生とできた
 （他業種が集まる就職イベントでは、ホテル・旅館に興味があるのかわからない人も相談に来るため、実のある話に繋がらないことが多々あるとのこと）
- ・これだけの宿泊施設が出展する機会はこれまでなかった
- ・来年も是非実施してほしい 等

参加学生の満足度は9割超



◇特定技能外国人受入企業(工場)数及び国籍と人数

令和 6 年 12 月末現在

年度	年度数	ベトナム	フィリピン	カンボジア	インドネシア	ミャンマー	マレーシア	韓国	ネパール	タイ	中国	スリランカ	インド	エチオピア	合計
H31/R1	5	6	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
R2	17	13	9	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	25
R3	100	88	37	1	7	9	0	0	1	2	1	0	0	0	146
R4	155	130	72	3	9	11	1	0	0	3	4	2	0	0	235
R5	142	91	41	8	17	3	0	0	0	5	1	4	18	18	206
R6	100	53	36	4	32	15	0	0	0	1	0	1	0	0	142
R7															0
R8															0
R9															0
R10															0
合計	419	381	195	18	66	40	1	0	1	11	6	7	18		762

◇特定技能外国人
受入支援機関数(中部)

年度	機関数
H31/R1	5
R2	11
R3	27
R4	40
R5	31
R6	29
R7	
R8	
R9	
R10	
合計	143

(参考)全 国 数
特定技能外国人
約 1, 900 人
約 540 機関
登録支援機関数

